

12-13right\_12-13left.JPG 2018/12/17

12-13right

十四日寅 雨時々止 無記事

十五日卯 雨晴数変

□虚□を徹し庭燎(にわび)を設あり

十六日辰 晴雨不一、猶<sup>レ</sup>昨の如し

横地よりの指<sup>ニ</sup>□し義雄並常司同道酒□飯を□すらる、隠居久□老人□す

十七日巳 晴雨如昨夕前殊暴雨

義雄の序(ついで)に托し、去る十二日久松の返書を遣す、常司より鶏一羽贈らる、義雄□□

□来□

染帷子地鶏卵一□、梨実等持来、両婢へも贈り品<sup>ヲ</sup>、□し酒飯を設く雨降りて泊宿

十八日午 晴朝夕雨一過

12-13left

秋山放<sup>ル</sup>廻村より帰宅掛け立ちよる立談(\*談)にて帰る、横地六を招き酒飯を勧む義雄と□

□の

ため也、常司隠居久叔母□□

十九日未 終日暴風雨 無記事

廿日申 朝霞雨晴雲

常司家内帰寧(\*きねい)より此の夕帰りし趣、菓子一折贈らる、義雄本日東京出立に付

□□杯を勸免

途に就(つか)しむ、且<sup>ニ</sup>月費六月より八月分迄廿四円渡し遣す、九月分よりは□□下旬秋山

を以叶<sup>ル</sup>□

廿一日酉 晴

常司方より白瓜真桑瓜茄等許多(あまた)贈らる

廿二日戌 陰

\*1:立談(談の異体字)

\*2:帰寧、女性が里帰りで親の安否を問うこと

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読はできません。